



住民とともに要望を 市に届ける



このまちとともに

JR津田山駅橋上駅舎化の要望書提出

「津田山駅と周辺をよくする会」と石田議員は住民と一緒に、3月に市が行った橋上駅舎説明会やその後寄せられた意見を「要望書」にまとめ、5月2日、市まちづくり局に提出、要望しました。

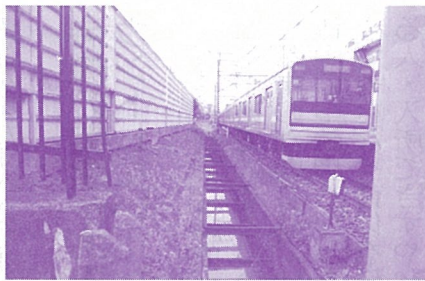
(回答は担当課長)

◆近隣住民のプライバシーを守る対策を

「自由通路や駅舎壁面がガラス張りでは、近隣の住居内が丸見えになってしまう、対策をとってほしい」の要望に、「住居側の一部を壁にする。道路側は2m程の高さまでくもりガラスを設計に反映させるよう検討中。詳細設計ができた段階で説明したい」と回答。

◆平瀬第2踏切側からのアクセス向上のため、下りホーム側の水路の上を歩道に出来ないか

「市は駅への『アクセス向上』というからには、幅員が狭くて危ない『平瀬第2踏切』を横断しなくてもよいように、水路ののり面と水路上を歩道にするためJRと粘り強く交渉してほしい」の要望に「学校のプールの高さとの関係で課題があるが、検討し、JRとも協議する」と回答。「津田山第1踏切側の水路上を歩道にすれば学校グラウンドを使う幅をもっと少なくできる」に対し、「水路ののり面を垂直に使う」と回答。



平瀬第2踏切側の用水路

◆エスカレーター設置または大きなエレベーターを

「エスカレーターは設計上無理だが、北側のエレベーターは、ストレッチャー

が入る大きさ、南側は11人乗りになると思われる」と回答。

◆ホームの屋根の延長をJRに要望してほしい

「JRからホームの工事と屋根の延長は別に考えていると聞いているが、再度JRに要望する」と回答。

◆駅前空間広場に車の乗降スペースがとれないか、

「交通安全上から1台分でもスペースが必要ではないか」の要望に「交通、道路管理者等と検討してみる」との回答。

◆工事に関する要望

「終電と始発の間の夜間工事のため近隣住民は騒音・振動による睡眠障害や体調不良を大変心配している。JRはその対策と工事の内容、方法、スケジュールの説明をしてほしい。事前の家屋調査や被害補償もJRを含めた取り決めを。工事中の苦情、要望の窓口を市、JRとも明示してほしい」の要望に、「要望をJRに伝える」「JRとの工事協定を秋頃に予定しているので、JRも含めた説明会を年明け頃に行いたい」と回答。

その後、年度末になりそうとの見解あり。

高津区内及び市営大谷住宅跡地に 特養ホーム整備の要望書提出

6月6日、高津区久末の方々が市長宛に「高津区内及び市営久末大谷住宅跡地に特別養護老人ホーム整備の要望書」を提出しました。石田議員が同席。6月1日現在の要介護者数に対するベッドの整備率は麻生区19・4%に比べ高津区はわずか6・7%。全市の高齢化率・18・4%に比べ久末地域は23・6%と高く、特に久末地域の市営住宅8カ所の平均高齢化率は44・34%にのぼり高齢化が顕著です。

参加者から切実な訴え

参加者から「単身高齢者や老老世帯が多くなり、

① プライバシーを守る対策を「自由通路、駅舎のガラス面の一部を曇りガラス等(壁面)へ変更する」と答弁

② 平瀬第2踏切のアクセス向上について、「水路部分等の敷地が狭隘であり、隣接する道路との高低差があるなどの課題があるので、その課題を含め、水路上部の有効利用の可能性についてJR東日本と協議し、検討する」と答弁

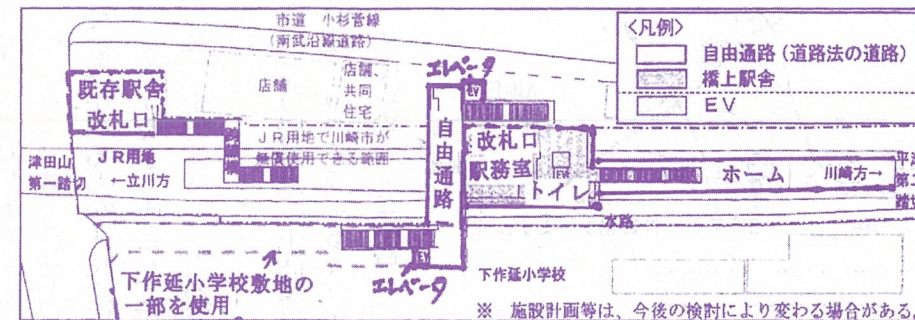


図5 津田山駅整備計画図



また坂道や階段が多い地域で在宅での介護生活は困難です」など訴え、市営久末大谷住宅跡地に是非整備をと要望しました。応じた長寿社会部長は「高津区の少ないのは承知していて、整備を進めなくてはならないと考えている。大谷住宅跡地については段差と道路幅等の課題があり、検討中」と答えました。

共産党の代表質問(6・12)にまちづくり局長が答弁

「待機児童大幅減」の発表ですが…

待機児童にカウントされない実態が！

4月1日現在の保育所待機児童数が62人となり、昨年の438名から大幅減になったと発表されました。

認可保育園に過去最多の23,500人の申し込み

認可保育園に入所できた…20,930人
入所できなかった不承諾数…2,570人
なのに、待機児童数は…62人

その訳は、以下のア～エの項目の人が待機児童にカウントさ

ア	市の保育施策で対応している児童数	合計	1500人
	内訳		
	川崎認定保育園等対応児童数		995人
	家庭福祉員（保育ママ）対応児童数		89人
	おなかま保育室対応児童数		290人
	一時保育対応児童数		119人
	幼稚園預かり保育対応児童数		7人
イ	産休・育休中の申請者数（4/1時点の取得者）		433人
ウ	第1希望のみ等の申請者数		409人
エ	主に自宅で給食活動を行う申請者数		166人

れないからです。

市は、ア～エの合計2,508人を待機児童ではないとし、入所不承諾の2,570人から引算し、残る62人を待機児童としています。私達はこの間、認可保育園の入所を申請しても入所できなかった人を待機児童にすべきと主張してきました。少なくとも市の保育施策で対応されていない「産休・育休中」「第1希望のみ」「求職活動中」は計1,008人にも上りますが、待機児童に加え、保育を必

要としている児童に対し、市の責任を果たすべきです。

待機の実態があるのに力ウントしない

市は、国の「待機児童の定義」に基づいていると言いますが、他都市のなかには、「産休、育休中の申請者」のうち、入所でさずやむなく育休を延長している人・入所できずやむなく雇用調整して週3日「一時保育」に預けている人

・「自宅で求職活動している人」については待機児童にカウントする市があるのに、川崎市は待機児童ではないとしています。

アフターフォローを実施

区役所から、何園も申し込んだのにどこにも入れない「入所不承諾」の通知が届けば、目の前が真っ暗になり、次の預け先の確保に奔走しなければならず、区役所がそのために親身になってアフターフォローするのは当然です。その結果、認可外で預け先が確保できたからと、待機児童が大幅減少したといいますが、本当の意味での「待機児解消策」にはならないのではないのでしょうか。

児童福祉法第24条一項で保育実施義務は自治体

保育を必要とする児童が希望する保育園に入所でき、子どもが安心して成長発達が保障されお母さん、お父さんが安心して働く事が出来る保育所を市の責任において保障するのが、児童福祉法第24条1項の意味するところだ。



代表質問で、園庭のある認可保育園の増設を要求

- ・10年間の認可保育園の整備数…162園
- 定員…11,910人
- ・うち園庭がないのは…55園（2,385人）

国の規制緩和で庭のない保育園が増え、近隣公園に認可、認可外問わずいくつもの保育園から遊びにきています。実態調査を行い園庭のある認可保育所を整備するよう求めました。こども本部長は「周辺の保育所による公園の利用時間帯が集中している課題もあるので、子育て環境に関する課題への対応を出来る限り図りながら整備をしていく」と答弁。

共産党代表質問

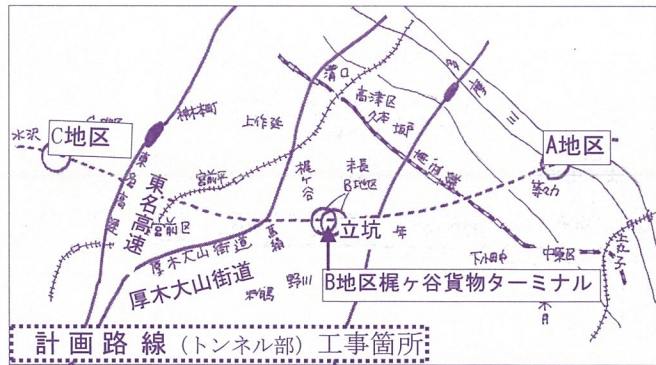
リニア新幹線、このまま秋に着工するのか！

梶ヶ谷に直径30mの立坑が掘られる

中原区、高津区、宮前区、麻生区と貫いて地下40mに巨大なトンネルを掘るリニア新幹線。梶ヶ谷を含め市内5カ所に、掘削した土を運び出す直径30mの立坑が掘られ、排出土砂は市内だけでも約400万立方メートル、ダンプ95万台にも及びます。

JR東海が作成した環境影響評価準備書には住民が心配する騒音振動、粉塵、排ガスなどの環境悪化について対策どこか予測数値すらなく、大量残土の運搬先もわかりません。

川崎市環境影響評価審議会では、これが問題になり、「他の物件では必ず計算条件とか計算結果はきちんと示される。どうしてリニア新幹線だけが許されるのか理解できない」という委員からの指摘がありました。



高津区内事業区域、千年新町、千年、新作2丁目、梶ヶ谷6丁目

「明らかに市民生活に重大な悪影響を及ぼす事が予測されながら、事業者は今秋にも着工しようとしています。着工を延期しどんな被害があるのか住民に具体的に説明するよう市として事業者に強く指導すべき」と質問しました。

まちづくり局長は「生活環境への影響を極力低減するようJR東海に強く求める」と回答。

日本共産党がリニア新幹線に反対する理由

- ① 国民的な要望も必要性もない。将来の現役世代人口が大幅な減少を考慮しない過大利用予測。地下水系切断で地下水位の低下等環境への影響大。
- ② 総工費約9兆円余。甘い需

- 要予測、工事費も膨れるおそれあり、国民への多大な負担と犠牲の押しつけの危険性がある。
- ③ リニア建設でなく、東海道新幹線の地震・津波対策、東日本大震災からの鉄道網の復旧を行うべき
- ④ 使用電力は新幹線の3倍以上に。エネルギーの浪費